



シロタエギク [白妙菊]

常緑／多年草／地被類等／草本植物
／外来種・園芸品種



科名 キク科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

葉と茎に銀白色の綿毛が密生することから「白妙菊」の名がある。この美しい葉が観賞目的で、カラーリーフとしてよく利用される。花壇などでは美しい葉を付ける新株が好まれるため、一年草扱いされることが多い。キク科セネキオ属の草丈50cmほどに育つ常緑多年草。



葉



花と葉



花



開花時全景

Memo

よく似たセントーレアなども葉が銀白色になるため、シロタエギクと呼ばれることがあるので注意。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期	(花芽は摘み取る)					■							
果 実	(花殻は摘み取る)							■					
紅 葉													
施 肥					■ (緩効性肥料を少々)								
剪 定	(花芽、花殻の摘み取りと、古い枝の切除)												

好みの環境				
日 当 り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
				○			

ポイント

日当たりと排水が良い場所が適地。日陰では葉が緑色になる。花壇のカラーリーフや縁取りとして活用範囲は広い。黄色の花をつけるが、摘芯して花を咲かせないようにすると、銀白色の葉が充実する。

剪定

シロタエギクは多年草だが、若株の葉の銀白色が魅力のため、剪定して新芽を伸ばしたり、新株と交換することが多い。挿し木にて更新もお勧め（古株は綿毛が少なくなるため銀白色になりにくい）。

病虫害

アブラムシが発生することがある。風通しをよくし発生を防ぐとよい。また、窒素など肥料過多でも発生しやすくなるため、肥料は控えめがよい。